

生成AI 成果報告会・取組実践報告

校務での生成AIの活用

春日井市立藤山台中学校

春日井市教育委員会の基本的な考え方

◆◆ ICT活用にかかわる市の方針 ◆◆

1. 先生たちがまず使ってどんなものかよく知る
2. 負担軽減につなげる
3. 質の向上につなげる
4. 子どもたちがどのように活用できるかを
校務活用しながら検討



本市の教育の情報化は25年前の「校務の情報化」から

平成 11 年～ 校務の情報化 校務支援システム開発協力

平成 18 年～ 普通教室への実物投影機・電子黒板整備

段階的 ICT 環境整備

平成 23 年～ 出川小 学習規律の徹底＋教師のICT 日常活用

平成 26 年～ 出川小
1 人 1 台の ICT 活用

平成 25 年～
市内全校への水平展開
「かすがいスタンダード」

平成27年～ 高森台中
つなげて考えさせる 等

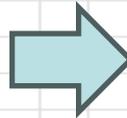
平成 29 年～ 出川小
情報活用能力育成・プログラミング

令和 2 年
GIGA 完全 1 人 1 台

**校務DX
クラウド活用**

春日井市教育委員会の基本的な考え方

校務活用開始前 チェックリスト



※ 校長Chat・
教頭Chat等で共有

生成 AI の利用についての教職員用チェックシート

生成 AI を業務で利用するに当たって、以下の点について確認をしてください。

生成 AI の種類や用途など、概要について理解している (ガイドライン p2~4 参照)

- 文書生成 AI には ChatGPT、Bing Chat、Bard 等のサービスがある
- 文書以外にも様々な用途の生成 AI が開発・利用されている
- 生成 AI の回答には誤りを含む可能性があり、真偽を確かめる必要がある

生成 AI の教育利用の方向性について理解している

- 慎重に取組を進め、成果や課題を検討する段階である
- ファクトチェック等、AI 時代に必要な資質・能力を育む必要がある

生成 AI を業務に利用するための手続きを理解している

- 校内研修を受け、生成 AI について理解を深めている
- このチェックシートを校長に提出し、許可を受ける必要がある
- 業務のためのアカウントは、新規に取得する (※私的に取得したアカウントは業務に使用しない)

生成 AI を利用するための要件を理解している

- 手続きをし、許可を得た教職員に限って利用することができる
- 児童生徒に使用させる際は、生成 AI の性質やメリット・デメリット、情報の真偽を確かめるような使い方等に関する学習 (ガイドライン p15 参照) を実施するとともに、あらかじめ保護者の許諾を得る

生成 AI 利用時の留意点を理解している

- 入力したデータは機械学習しない設定で利用する
- 個人情報、プライバシー情報、機密情報を入力しない (ガイドライン p12・13 参照)
- 著作権侵害となる使い方はしてはならない (ガイドライン p14 参照)
- その他、生成 AI の利用規約を遵守する

利用する生成 AI の利用規約を読み、内容を理解している

- 利用する生成 AI が ChatGPT の場合は、
規約はこちら <https://openai.com/policies/terms-of-use> (英語)
(規約には日本語版がないため、ブラウザの翻訳機能等を活用して確認すること)

(あて先) 春日井市立〇〇学校長 令和 年 月 日
業務に生成 AI を利用する上で、以上の点を確認しました。
このチェックシートの内容を遵守し、業務に生成 AI を利用することを希望します。

職名 _____ 氏名 _____



GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校向け）

教員と保護者間の連絡のデジタル化

- ① 児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、P C・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。
- ② 業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、P C・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。
- ③ 学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。
- ④ 保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。
- ⑤ 保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。
- ⑥ 保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。
- ⑦ 学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。
- ⑧ 学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか。

教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

- ① 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか。
- ② 児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。
- ③ 児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。
- ④ 宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。
- ⑤ 宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。
- ⑥ クラウドサービス等を活用し、授業中の小テスト等にCBTを取り入れていますか。
- ⑦ クラウドサービス等を活用し、定期テストにCBTを取り入れていますか。

学校内の連絡のデジタル化

- ① 職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。
- ② 職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。
- ③ 職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。
- ④ 職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。
- ⑤ 校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。
- ⑥ 教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。
- ⑦ 授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。
- ⑧ 校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。
- ⑨ 授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。
- ⑩ 教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。
- ⑪ 教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。
- ⑫ 学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか。
- ⑬ 長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。
- ⑭ 教員は校務用の個人メールアドレスが附与されていますか。

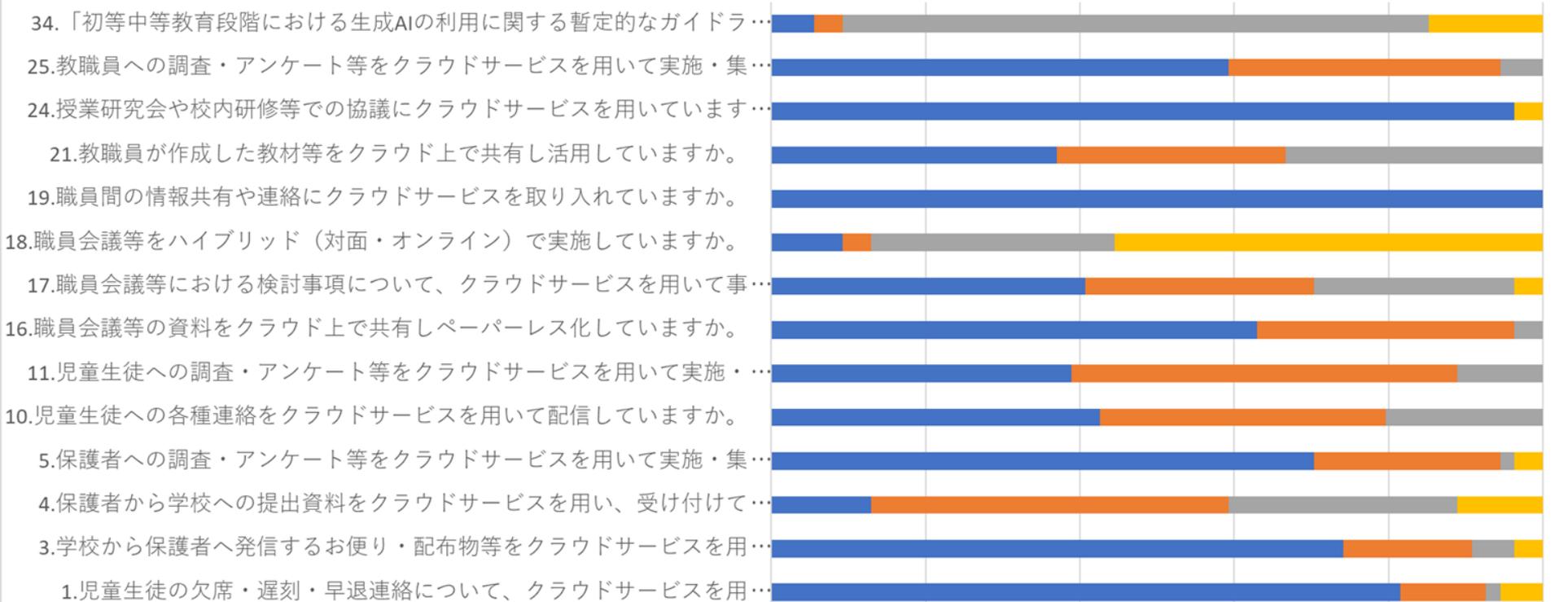
その他

- ① 業務にFAXを使用していますか。
- ② 保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか。
- ③ 1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せられていますか。
- ④ 学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか。
- ⑤ 「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用していますか。

文科省:校務DX自己点検スコアー… 全国TOPクラス

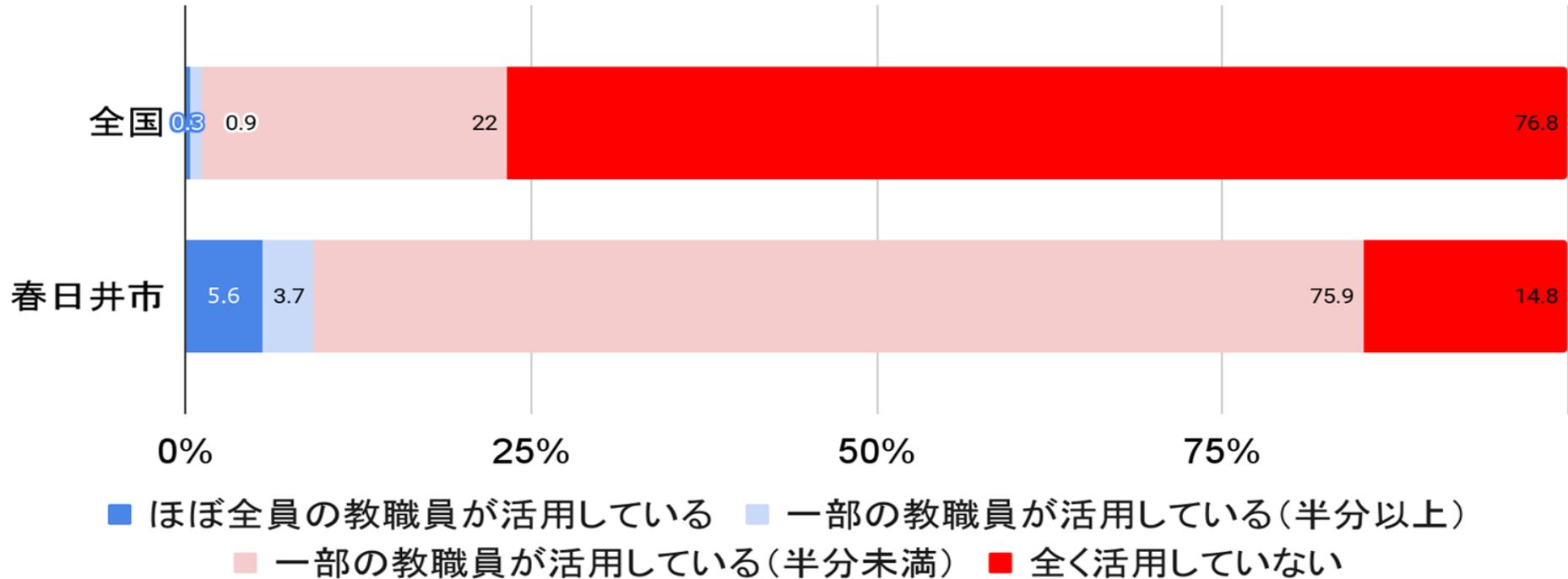
校務DX実施状況（春日井市）

■ 完全実施 ■ 半分以上実施 ■ 半分未満実施 ■ 未実施



0 20 40 60 80 100

問34：「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用していますか。



校務利用の 4 カテゴリ

使用生成 A I

Gemini

ChatGPT

校務利用①
集約・分析

校務利用②
アイデア出し・一次作成

校務利用③
文書校正サポート

校務利用④
P C プログラム等サポート

校務利用①

集約・分析

- ・ 生徒の感想・アンケートの集約
- ・ 教師の行事（文化祭・体育大会）の反省を集約
- ・ 保護者の学校評価等の記述の分析

校務利用②

アイデア出し・一次作成

- ・ 現職研修（生成AIの研修）の内容・資料の生成
- ・ 保護者文書等の一次文書作成
- ・ 授業展開・演習問題のアイデア出し
- ・ 論文作成の際のアイデア出し、校正

校務利用③

文書校正サポート

- 文章校正プロンプトを活用して、論文・実践資料の校正、審査にも活用
- 調査書の所見の校正・サポート

校務利用④

PCプログラム等サポート

- ・ スプレッドシート等の関数・コード作成
- ・ 公開授業の申し込みに自動返信する
スクリプトやトリガーの生成
- ・ **Google for Education** の使い方を尋ねる

校務利用① 生徒の感想・アンケートの集約（Chat GPT活用）

R5 9/29 ふじっこタイム アドジャン振り返り（回答） ☆ 📄 ☰
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

100% ¥ % 0.00 123 デフォ... 10 +

A1 | fx タイムスタンプ

	A	B	C	D
1	タイムスタンプ	今回の活動はどうでした	なぜ、そう感じましたか。理由を具体的に考えてみましょう。	
2	2023/09/29 13:06:06	とても楽しかった	あまり話したことのないメンツで話したからです	
3	2023/09/29 13:06:12	とても楽しかった	みんなで楽しく答えたりできたから	
4	2023/09/29 13:06:13	まあ楽しかった	話し合いがスムーズで沈黙の時間が少なかったから。	
5	2023/09/29 13:06:29	とても楽しかった	友達と話せたらしい	
6	2023/09/29 13:06:40	とても楽しかった	普段あまり話さない子と、話すことができたからです。	
7	2023/09/29 13:06:41	とても楽しかった	みんなの好きなものなどがわかったからです。	
8	2023/09/29 13:06:43	とても楽しかった	みんなうなずいて話を聞いてくれて話すことが楽しかった	
9	2023/09/29 13:06:45	とても楽しかった	班活動で勉強以外のことをあまり話さないから	
10	2023/09/29 13:06:47	とても楽しかった	面白い	
11	2023/09/29 13:06:49	とても楽しかった	みんなの好きなことや行きたい場所などが話れて、コミュニ	
12	2023/09/29 13:06:54	とても楽しかった	みんなの知らない所を話していいなとおもったから。	
13	2023/09/29 13:07:03	とても楽しかった	話が盛り上がり、色々な話題に繋がっていったので、とても	
14	2023/09/29 13:07:15	とても楽しかった	人と話せたから	
15	2023/09/29 13:07:16	とても楽しかった	お互いのことを知ることができて楽しいからです	
16	2023/09/29 13:07:19	とても楽しかった	アドジャンはお題が面白いものばかりで話が盛り上がった	
17	2023/09/29 13:07:20	まあ楽しかった	お題が決められていて普段話さない話題を話すことができた	



10月16日, 10:46

生徒の感想一覧を、生成AIに放り込んでまとめてもらいました。ご参考まで。



一覧から感じられる傾向を考えると、以下のようになります。

1. 新しい人間関係・コミュニケーションが楽しい

- ・あまり話さない人々と話す機会があり、それが楽しいと感じます。
- ・友人と話すことができ、とても楽しいです。
- ・グループで会話をしながら関わることができ、楽しいです。

2. いろいろなトピックと質問が楽しい

- ・異なるテーマや意見について話すことが新鮮で楽しい。
- ・興味深い質問やトピックが話題になり、それが楽しさを生んでいる。

3. 相手の知識と意外な一面に興味を惹かれました

- ・相手の好みや意外な特徴を知ることができ、楽しいです。
- ・他の人の意見や考え方は非常に興味深いものでした。

4. 共感と理解が楽しい

- ・他人と共感したり考えたりすることが楽しい。
- ・うなずきや共感しながら、話を聞いてもらえてると感じて、楽しいです。

ソーシャルスキル・トレーニングに取り組んだ感想を振り返ったデータ（Formにより集約）をまとめて、生徒の傾向を職員で共有することができた。カテゴリ分けまでしてくれて、非常に分かりやすい。

校務利用① 生徒の感想・アンケートの集約 (Chat GPT活用)

「次のアンケートの感想を集約してください」 + データ貼り付け

ChatGPT 3.5 ▾

You

次のアンケートの感想を集約してください
とても楽しかった あまり話したことのないメンツで話したからです
とても楽しかった みんなで楽しく答えたりできたから
まあ楽しかった 話し合いがスムーズで沈黙の時間が少なかったから。
とても楽しかった 友達と話せたら楽しい
とても楽しかった 普段あまり話さない子と、話すことができたからです。
とても楽しかった みんなの好きなものなどがわかったからです。
とても楽しかった みんなうなずいて話を聞いてくれて話すことが楽しかった
とても楽しかった 班活動で勉強以外のことをあまり話さないから
とても楽しかった 面白い
とても楽しかった みんなの好きなことや行きたい場所などが話れて、コミュニケーションが取れるから
とても楽しかった みんなの知らない所をしれていいなおもったから。
とても楽しかった 話が盛り上がり、色々な話題に繋がっていったので、とても班の人をはすことができた。
とても楽しかった 人と話せたから
とても楽しかった お互いのことを知ることでとても楽しいからです



ChatGPT

アンケートの感想を集約すると、以下のポイントが挙げられます。

1. 楽しかった理由

- あまり話したことのないメンバーと話せたことが楽しかった。
- グループで楽しく答えたり、話し合いがスムーズだった。
- 普段話さない人と話せて新鮮で楽しかった。
- みんなの好みや考えがわかり、コミュニケーションが取りやすかった。

2. うなずきの効果

- うなずきがテーマで、意識することで自然に楽しくなった。
- うなずきがあることで、話を聞いてもらえる雰囲気があり、コミュニケーションがス

3. 質問の重要性

- 質問に対して面白い返答があったり、質問から盛り上がったりした。
- 質問を通じて普段知らない一面や意外な情報を知れて楽しかった。

4. コミュニケーションの幅が広がった

- 普段関わりのない人と話すことで、友達や班のメンバーとの関係が深まった。
- グループやアドジャンを通じて、他の人の考えや好みを知り、コミュニケーションの

校務利用② 生成AI教員研修の内容・資料の生成（Gemini活用）



中学校の先生向けにBardを使った生成AIの研修をします。時間は30分です。どのような内容がいいですか？ 

他の回答案を表示  



中学校の先生向けの生成AI研修の30分の内容としては、以下のようなものが考えられます。

1. 生成AIとは何か

生成AIとは、テキスト、画像、音声などのデータを生成するAIのことです。Bardは、生成AIの一種である言語モデルです。

まず、生成AIの基本的な概念や、Bardの概要について説明します。

2. Bardの特徴

現職研修において内容を考えるところに一番時間を要する。アイデアを瞬時にもらえることで、研修準備の大幅な時短が可能。

校務利用② 生成AI教員研修の内容・資料の生成（Gemini活用）

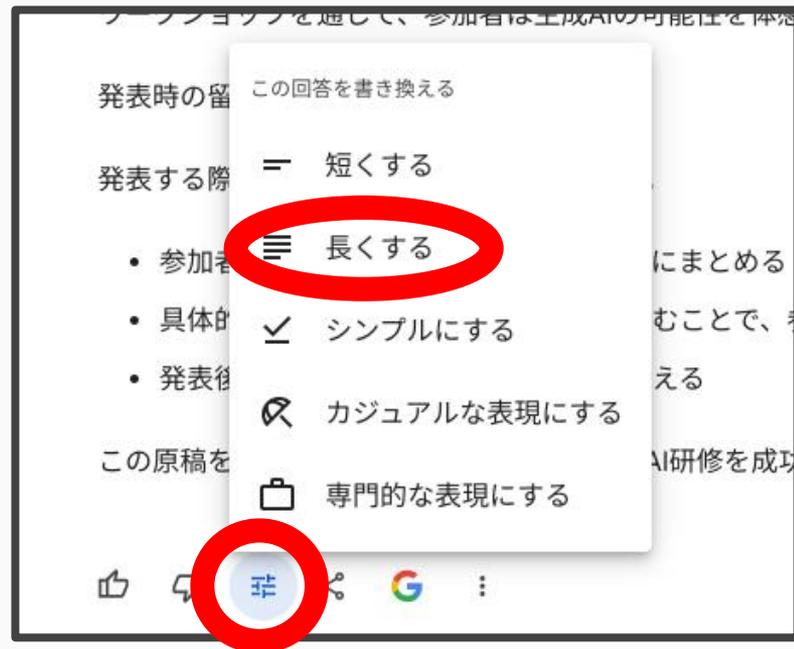
授業での活用方法（10分）

- 発問や問題作成、学習支援ツール、探究学習などに活用できます。



発問や問題作成

- 生徒の理解度や思考力を測るための発問や問題を作成することができます。
- 例えば、以下のような発問や問題を作成することができます。
 - 「次の文章の要約を、200字以内で書いてください。」
 - 「次の文章の中の誤りを1つ見つけ、訂正してください。」
 - 「次の文章を、別の視点から書き直してください。」



原稿の内容を聞いたところ、少し言葉足らずなところがあったため、書き換え機能を使い、文章を長くしたところ、より伝わりやすくなった。

校務利用② 生成AI教員研修の内容・資料の生成（Gemini活用）

英語の授業では、Bard を使って以下のことができます。

- 英語の文章を生成させる
- 英語の文章を翻訳させる
- 英語の文章の要約をさせる
- 英語の質問に答えさせる

例えば、英語で作文を書く授業で、Bard を使って作文のアイデアを生み出すことができます。

また、英語のリスニングの授業で、Bard を使って英語の音声を翻訳することができます。



次の課題をBardを使って解決しよう。

- 日本の文化を紹介する英語のプレゼンテーションを作る
- 英語で新聞記事を書く
- 英語で詩を書く

英語のプレゼンテーションの準備をしよう。

- プレゼンテーションの構成を考える
- プレゼンテーションのスライドを作成する

次の単語の意味は？

- introduce
- communicate
- understand

英語の小説について意見交換しよう。

- 小説のテーマは何か
- 小説の登場人物の性格はどのように描かれているか

授業での活用例では、
問い直していくことで、
より具体的な授業例が
例示されるようになった。

校務利用③ 調査書の文書の推敲作業（ChatGPT活用）

User

「生物多様性の損失をくいとめる」もっと良い表現は？

ChatGPT

「生物多様性の喪失を防ぐ」または「生物多様性の減少を食い止める」といった表現が考えられます。他にも、「生態系の多様性の維持」「生物の種の減少を抑制する」なども適切な表現となります。文脈によってもっと適した言葉を選んでください。

User

「生物多様性」ち「生態系の多様性」ニュアンスとしてどこが違う？

ChatGPT

「生物多様性」と「生態系の多様性」は関連していますが、微妙な違いがあります。

校務利用② 保護者文書等の一次文書作成（Gemini活用）

信也

保護者案内をA4で作成してください。

中学生に生成AIを使用させるための同意を求める内容です。使っていきます、承諾できない方はご連絡ください、という内容でお願いします。



他の回答案を表示



中学生生成AI使用同意案内

平素より、本校の教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、本校では、中学生の生徒に生成AIを使用させていただくことになりました。生成AIとは、テキストや画像、音楽などを自動生成するAIのことです。

生成AIの使用目的は、以下のとおりです。

- 生徒の創造性や表現力を育む
- 生徒の学習意欲を高める
- 生徒の学習効果を高める

校務利用② 保護者文書等の一次文書作成（Gemini活用）

なお、生成AIの使用にあたっては、以下の点に留意いたします。

- 生徒の個人情報、生成AIの使用以外の目的で使用いたしません。
- 生成AIの使用結果は、公表いたしません。

生成AIの使用にご同意いただける場合は、下記の同意書にご記入・捺印の上、ご提出ください。

同意書

私は、[学校名]の生徒[氏名]の保護者として、生成AIの使用に同意いたします。

[保護者氏名]

[捺印]

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



保護者の皆様へ

令和5年12月11日

春日井市立 藤山台中学校長
西崎 慎也

Chat GPT 等の生成 AI の利用 について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
本校では、リーディングDX事業のモデル校として、一人一台端末を活用しながら、生徒の情報活用能力の育成や、学びの充実をめざしているところです。この度、その取組の一環として、生成AIの活用を検討しております。

生成AIは、大量のテキストデータから学習し、人間が書いたようなテキストや画像等を生成することができる技術です。教育に活用することで「生徒の創造性や表現力を育む」「学習の効率化を図る」「新しい学びの機会を創出する」等の教育効果が期待できます。

そこで、本校の2・3年生において、生成AIを活用した活動や授業を実施する予定です。具体的な活動については、以下のような内容を考えています。

- 総合：生成AIを体験し、その仕組みを知る活動
- 国語：作文の添削や、創作文の執筆
- 各教科：問題の添削や解答、ドリル作成
- 委員会や係活動：会の原稿作成やアイデア出し

生成AIの使用につきまして、ご理解とご協力をお願いします。
なお、生成AIの使用を承諾いただけない方は、教頭までご連絡ください。

※ 生成AIの使用に関する注意事項

生成AIは、あくまでもツールの一つです。生徒が自ら考え、学ぶ姿勢を大切にしながら、生成AIを活用した教育活動を進めていきます。

また、生成AIによって生成されたテキストは、必ずしも正確なものではありません。生徒には、生成されたテキストを鵜呑みにせず、自分で内容を確かめるように指導していきます。

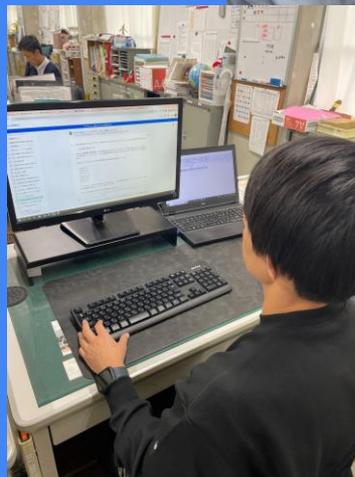
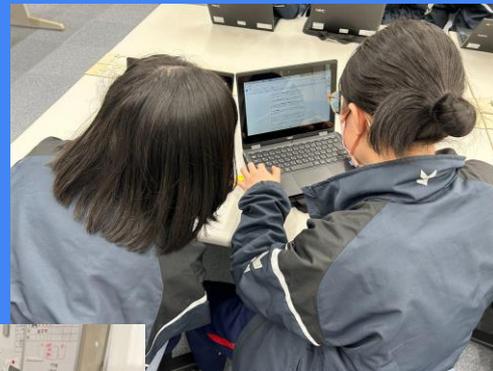
生成AIの活用は、これからの教育において重要な課題の一つです。本校では、安全で効果的な活用方法について、引き続き検討を重ねていきます。

使用生成 A I : Gemini

まずは校務活用してみる

忙しい人ほど効果的に
活用する

楽しんでやってみる



ありがとうございました

愛知県春日井市立
藤山台中学校



今後期待する子どもの姿

今後の 展望について

愛知県春日井市立
藤山台中学校

子どもたちが自分で考えて
生成A Iを授業で活用する
学校生活・自分の生活で
有効に使える

どのように生成A I を活用していくか

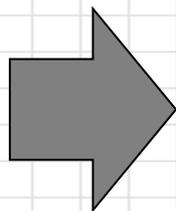
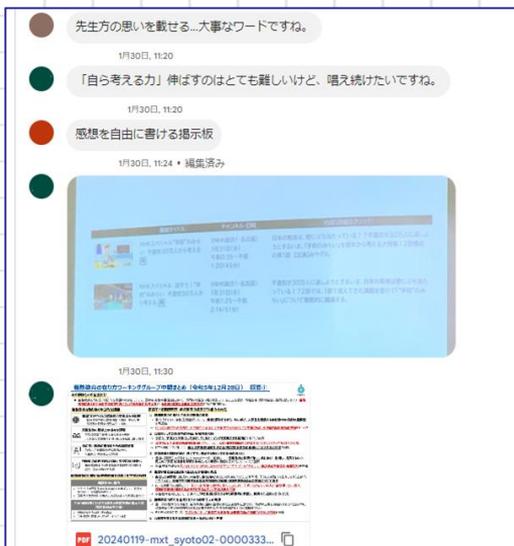
◆◆ ICT活用にかかわる市の方針 ◆◆

1. 先生たちがまず使ってどんなものかよく知る
2. 負担軽減につなげる
3. 質の向上につなげる
4. 子どもたちがどのように活用できるかを
校務活用しながら検討

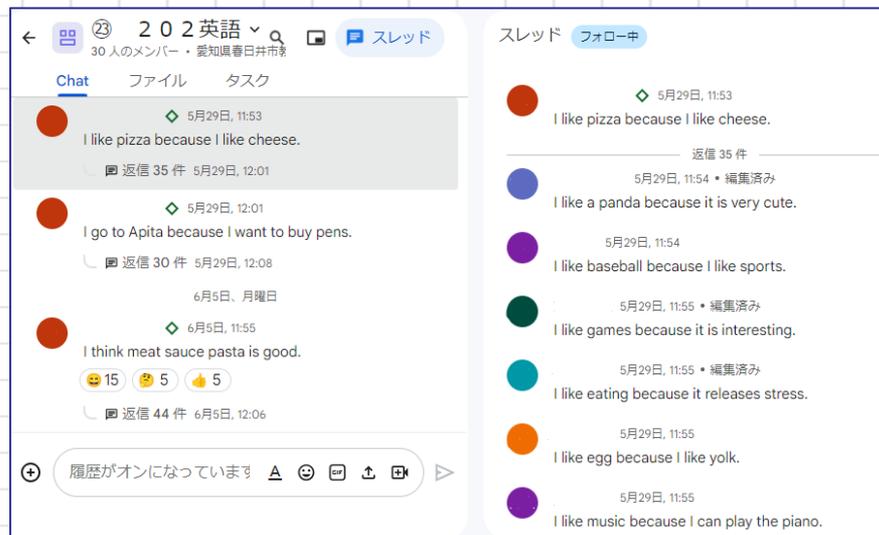
まずは
校務利用から！

どのように生成A I を活用していくか

教員の情報交換Chat

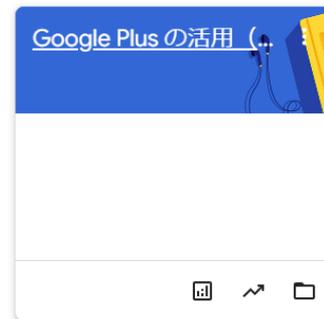
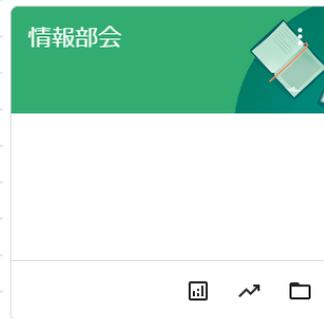


英語授業でのChat活用



校務活用への手立て

- クラウドでの情報共有
- 職員研修の充実
- 業務精選



ありがとうございました

愛知県春日井市立
藤山台中学校

